



IDFプレスリリース

2018年2月12日、ブリュッセル発

新しいIDF事務総長、就任にあたり抱負を語る

科学の力で乳の利点を切実に説く

NEW DIRECTOR-GENERAL SAYS IDF IS COMMITTED TO DRIVING FORWARD SCIENCE TO UNDERPIN DAIRY'S COMPELLING STORY

2018年2月12日、新しく就任した事務総長は本日、科学の伝統に立脚して動きの速い報道や政治状況の中で、酪農乳業がより大きい影響力を発揮する国際酪農連盟の覚悟を示した。

就任初日に当り、キャロライン・イーモンド氏は「国際酪農連盟の事務総長として組織の一員となり、IDFグローバル大使になることを光栄に思います。」と述べた。

「IDFは100年以上もの歴史をもつ誉れ高い組織です。成功を続けるIDFをリードする機会をえてこれまで以上に大きな発展につなげたい。」

「前任者のニコ・ヴァン・ベルゼン氏が残した素晴らしい実績を引き継ぎ、世界の中で活躍する専門家の輪に入れることが楽しみです。皆さまのエネルギー、活力、専門的な経験を持ち寄り、IDFがグローバルな酪農乳業の課題を背負うにふさわしい権威者であるとの立場を維持し高みを臨みたいと思います。」

「IDFには、酪農乳業に関連する科学技術を育てるという素晴らしい伝統があります。IDFが重要な活動を継続し、これらの活動の努力をなるべく広く切実にコミュニケーションして熱意をもって取り組みます。」

「重要な課題にグローバルな合意を取り付けるIDFのユニークな能力を示せば、国際

的な酪農乳業の和声が聞こえます。敬意を集める多彩な専門家とこの合意形成する力が相まって、酪農乳業の未来を切り拓くために、IDFは業界を代表する立場を強化し、世界中の消費者、生産者、加工業者および利害関係者に本当の意味で貢献することができます。」

「今の時代はこれまで以上に、酪農乳業界が乳および乳製品の価値を称賛し、乳および乳製品が健康でバランスのとれた持続可能な食事に重要な役割を果たすことをいかに明確に示すかが求められます。私は酪農乳業の有利性をさらに高めて利害関係者とともに課題を先取りしてゆく所存です。世界の政策立案者やインフルエンサーに、科学をベースとしたガイダンスとリーダーシップをIDFから届けたいと思います。」

完

翻訳：JIDF事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。